

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・通年・A群
	対象学科・専攻	機械工学科
外書輪講 (Reading of English Technical Papers)	担当教員	機械工学科全教員(代表:田畑隆英)
	教員室	機械工学科棟3階(Tel. 42-9110)
	E-mail	tabata@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(50分)×30回	
〔本科目の目標〕 機械工学に関する技術英文の英語表現の特徴を理解し、技術英文の読解力及び日本語への翻訳能力を習得する。		
〔本科目の位置付け〕 各専門科目の専門用語の英語表記を周知していること。基本的英文法や長文解釈を修得していること。		
〔学習上の留意点〕 少人数のグループに分かれて、各分野を数時間ずつ受講する。担当教員と受講の割振りは前期、後期の各学期始めに通知する。各専門用語の頻度が高いので、語数が豊富な辞書や各分野のテキストの英語索引を使用すること。事前にテキストの調べ、予習を十分に行っておく必要がある。		
〔授業の内容〕		
授業項目	時限数	授業項目に対する達成目標
機械工学における基礎あるいは最新の技術について記述されている技術英文の輪講	学生は1教員あたり約5時間、計10人の教員の講義を受ける。	<p>[流体工学分野] 流体力学, 流体工学, 流体機械に関する技術英文を理解できる。</p> <p>[加工工学分野] 機械工作法, 工業力学, 知的生産システムに関する技術英文を理解できる。</p> <p>[熱工学分野] 熱機関, エネルギー工学, 伝熱工学に関する技術英文を理解できる。</p> <p>[材料力学, 材料工学分野] 材料力学, 機械力学, 固体力学, 塑性加工学に関する技術英文を理解できる。</p>
〔教科書〕プリント配布		
〔参考書・補助教材〕関連分野の教科書など		
〔成績評価の基準〕プレゼンテーションや質疑応答, レポート, 平常試験 各担当教員の評価した結果を相加平均する。 各教員の評価法は授業開始時に通知する。		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 2-b, 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 2-3		
〔JABEEとの関連〕 (f)		